

進路指導部だより

令和2(2020)年

2月27日(木)

第11号

三戸高校進路指導部

2年生よ、いつ本気になる？

2月6日に、本校講堂で「進路体験発表会」が行われました。これは、3年生自身が合格を決めた進路先について、決断した経緯や自分が興味を持った分野について発表しました。将来自分が進む分野について、これからも**本気**で向き合っていく覚悟が感じられました

また、今回はお忙しい中、卒業生の中鶴間一真さんと下田華子さんをお招きし、1・2年生のために高校卒業後の実体験を発表していただきました。丁寧に時間を活用され、とても充実した学生生活を送られていました。春からそれぞれ公務員として、地域に貢献して行く予定だそうです。

2年生は来年のこの舞台上、発表しなければいけません。そのためには、すでに、第一志望合格に向けて**本気**で準備を進めていなければいけません。大事なことは、**本気**になっていることです。そのためには、**第一志望を明確にする**ことが必要です。今度は皆さんが、三戸高校の伝統をつなぐ番です。さあ、**本気**で自分の進路と向き合いましょう。



1年生よ、いつ勇気を持つ？

昨年の10月17日に、1年生の保護者の方々を対象にした進路講演会が実施されました。講師は、ベネッセコーポレーション東北支社の細川浩直さんです。講演会のテーマは「よりよい進路選択のために」でした。細川さんは、来年度から実施される「大学入学共通テスト」の概要や求められる学力の三要素等について説明されました。そこに向けてやらなければいけないことや、新たにスタートする「総合選抜型入試」や「学校推薦型入試」、そして「一般選抜型入試」も含めて必要となるポートフォリオについても併せて説明されていました。つまり、学力の他に資格取得や特別活動に励んでいる生徒ほど、高く評価されるシステムに変わります。

皆さんが受験した模擬試験やスタディーサポートは、受験した後に成績表が送られてきます。その中に、偏差値と連動する形で**G T Z (学習到達ゾーン)**という指標が掲載されます。細川さんは、そのG T Zで**D**の評価がついた生徒は、高卒後就職しても、仕事の内容が理解できず、離職してしまう確率が高いと説明されていました。だから、どの進路の分野に進むとしても、**評価C以上の学力がつくように**頑張らなければいけません。

なぜこの時期に、10月に実施したことを掲載したかということ、あれから4ヶ月の間に1年生はどのくらい進路について考え、どれだけ行動に移すことが出来たのかが見えてこないからです。もしかしたら、もうすでに自らの進路について準備を始めている生徒もいるかもしれません。1学年全体を見渡してみると、学年の先生方が思っているほど、スタートを切れていないのではないかと思います。前回の進路だよりも、この件について記載しました。皆さんが準備を開始できない理由は何でしょうか？まだ進路のことは考えなくても、時間があるから良いと思っているからですか？それとも自信の無さから、将来の進路を決めることへの不安がそうさせていますか？もし、後者の理由であれば、**勇気**を持って早期に進路目標を明確にし、**勇気**を持って資格取得に励むのです。就職希望の生徒も、やることは同じです。進学しないから、だらだらと時間を過ごして良いわけがありません。なぜなら、進学を希望している生徒より先に受験しなければいけないからです。

4月から**2年生は最上級生**に、**1年生には後輩ができます**。それぞれの立場に見合った言動が見られるかで、新入生に尊敬されるかどうかが決まります。**ただ歳が上だけの、先輩にはなりたくないものです。**